

第七十四回
帝國議會
貴族院

森林法中改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

森林法中改正法律案

林業種苗法案

委員氏名

委員長 伯爵川村鐵太郎君
副委員長 男爵三須 精一君
公爵一條 實孝君
侯爵佐竹 義春君
子爵伊集院兼知君
子爵鍋島 直繩君
子爵梅園 篤彦君
木場 貞長君
男爵小畑大太郎君
男爵近藤 滋彌君
松本 學君
宇野 勇作君
小林嘉平治君
山本 米三君
絲原武太郎君

昭和十四年三月二日(木曜日)午前十二時
十九分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ是
カラ開會致シマス、第一ニ政府提案ノ理由

ヲ伺ヒマス

○政府委員(松村謙三君) 森林法中改正法律案及林業種苗法案ノ提出理由ニ付キマシテハ、本會議ニ於キマシテ其ノ大要ヲ申述ベタノデゴザイマスガ、尙補足致シマシテ御説明申上ゲタイト存ジマス、我が國內地ニ於キマスル木材需要ノ趨勢ハ、近年內地產木材ニ依存スルコト漸ク多キヲ加ヘマシテ、從ッテ內地產木材ノ増産ヲ必要ト致シテ參リマシタガ、支那事變ノ勃發ニ際會致シマシテ、益々木材ノ需要ガ急激ニ増加致シテ居リマス、其ノ反面ニ於キマシテ外國產木材ノ輸入ヲ極力少量ニ止メルコトガ必要トセラレマシタ爲ニ、増大シツ、アル木材ノ需要ハ、主トシテ內地產木材ヲ以テ充足セネバナラス情勢ニ立至リマシテ、其ノ結果トシテ內地森林、殊ニ從來比較的施業ノ放漫デアリマシタ民有林ニ付キマシテハ、其ノ搬出ニ便利ナル地方ニ於キマシテ過伐、早伐ノ傾向ヲ愈々深刻ナラシメテ居ル次第デゴザイマス、民有林ニ付キマシテハ、昭和四年以來造林促進施設トシテ、毎年約三萬町歩ノ無立木地造林ノ助成ガ行ハレテ來マシタニモ拘ラズ、山村經濟ノ疲弊等ニ原因

致シマシテ、造林總面積ハ連年採伐總面積ニ及ビマセズ、過去十箇年間ニ於テ累計約四十一萬町歩ニ達スル造林未済ノ伐採跡地ヲ生ジテ居ルノデアリマスガ、斯クノ如キ植伐不均衡ノ狀態ガ繼續致シマシタ爲ニ、既ニ貧弱トナツテ居リマス所ノ民有林ノ蓄積ハ、前述ノ如キ濫伐ノ傾向ニ依リ最近頗ニ減耗シツ、アルノデアリマス、從ッテ今後此ノ狀態ヲ放任致シマスルナラバ、內地ニ於ケル木材供給ノ源泉ガ次第ニ枯竭致シマシテ、重要資源自給方策ニ破綻ヲ來ス虞ガアリマスルノミナラズ、治山、治水ノ基礎ヲ危クシ、爲ニ各種災害ヲ頻發セシムル誘因トナリ、延イテ銃後產業經濟ノ圓滑ナル進展及國民生活ノ安定上大ナル障害ヲ來ス虞ガアルノデアリマス、鑒ッテ我が國、民有林ノ現狀ヲ見マスルニ、交通ノ便ノ比較的良クナイ所ニ於キマシテハ、猶老齡林分ニシテ開發ノ餘地ヲ殘スモノガ相當ニ多イノデアリマシテ、是等ハ其ノ施業ニ合理的基礎ヲ缺クガ爲ニ、過熟蓄積ヲ包藏シナガラ徒ニ之ヲ未利用ノ狀態ニ放置シテアル次第デアリマスガ、茲ニ其ノ施業ヲ合理的、集約的ナラシムル政策ヲ確定致シマスナラバ、

是等ノ老齡過熟林分ノ木材生産力ヲ活用スルコトガ出來ルノデアリマシテ、右ノ木材供給ノ趨勢ニ對應致シマシテ、內地森林ノ擔當スベキ使命ヲ全フスルニ足ルベキ數量ヲ供給スルコトモ、決シテ不可能デハナイト認メラル、ノデアリマス、茲ニ於キマシテ民有林ニ於ケル施業ヲ集約化シ、其ノ生産力ノ最大ノ利用ヲ圖ル爲ニ、施業ノ基本的ナ技術ヲ民間ニ普及徹底セシメ、一面ニ於テ間伐作業ノ獎勵、老齡過熟林分ノ整理伐ノ促進等ニ依リ、出材量ノ増加ヲ誘導シ、他面ニ於キマシテ幼齡未熟林分ノ濫伐ヲ抑制シ、以テ森林資源ノ普遍的活用方策ヲ講ズルト共ニ、伐採跡地ノ造林ヲ勵行シ、木材供給ノ現勢ニ即應シタル合理的植伐關係ノ確立ヲ圖リマシテ、以テ森林資源ヲ培養シ、戰時經濟下ニ於ケル各種用材資材ノ供給ヲ確保シ、且將來ニ於ケル森林生産ノ保續ヲ維持スルト共ニ、治山ノ基礎ヲ堅クシテ災害ヲ防除スルコトハ、誠ニ刻下喫緊ノ要務デアルト存ズルノデアリマス、仍テ今回森林法中第二章營林ノ監督ニ關スル規定及第五章森林組合ニ關スル規定ヲ改正補足シテ、右ノ方策ヲ實施ニ資

スルコト致シタノデアリマスガ、改正法律案ノ主ナル内容ト致シマシテハ、第一ニ、大地積ノ森林所有者ハ、其ノ森林ニ付キ施業案ヲ編成シテ地方長官ノ認可ヲ受クルコトトシ、又中小ノ森林所有者ハ森林組合ヲ設立シテ、組合ニ於テ施業案ヲ編成シ、地方長官ノ認可ヲ受クルコトト致シテ居ルノデアリマシテ、右ニ依ル施業案ノ編成ノナイ森林ニ付キマシテハ、行政官廳ニ於テ森林生産ノ保護ヲ圖ル爲メ必要アルトキハ、伐採方法其ノ他施業上必要ナル事項ノ指定ヲ爲シ得ルコトト致シテ居ルノデアリマス、第二ニ、大地積ノ森林ノ所有者、森林組合等ガ、施業案其ノ他ニ定メラレマシタ施業上ノ要件ニ準據セザルモノアル爲ニ、種々ノ弊害ヲ生ズル虞ガアリマス場合ニハ、行政官廳ガ或ハ伐採ノ停止ヲ命ジ、或ハ其ノ者ニ代ッテ施業上必要ナル行爲ヲ爲スコトガ出來ルコトニ致シテ居ルノデアリマス、第三ニ、大地積ノ森林ノ所有者及森林組合ニ對シテハ、治水其ノ他公益上特ニ必要アル場合ニハ、特定ノ資格ヲ有スル施業技術者ヲ置クコトヲ懇懇助成シ、以テ施業合理化ノ完璧ヲ期スルコトニ致シマシタ、而シテ森林組合ニ關シマシテハ、其ノ森林生産部門ニ於ケル活動ヲ促進スル爲

ニ、從來ノ制度ノ下ニ認テラレテ居リマシタ造林組合、施業組合、土功組合及保護組合ノ四種ノ組合ヲ整理統合致シマシテ、一ハ共有林等ニ關シ現ニ存立スル施業合同組合ノ充實ヲ圖リ、一ハ組合員ガ各、其ノ所有林ニ付テ行フ施業ニ關シテ、共同ノ施業案ヲ編成シ、之ニ基イテ各組合員ノ間ニ施業ノ調整ヲ行フモノトシ、各地方ノ實情ニ即シテ其ノ普及ヲ圖ルコトト致シテ居ルノデアリマス、尙組合員ノ出資ニ基キ、自己資金ヲ持チ得ル森林組合ニ付キマシテハ、必要ナ程度ニ於テ林産ノ物ノ運搬、加工、保管、販賣ニ關スル施設、森林ノ維持又ハ施業ニ必要ナル資金ノ貸付、地區内森林ニ付キ地元森林所有者ノ創設、組合員ノ委託ニ依ル森林ノ施業等ノ事業ヲ行ヒ得ル能力ヲ明カニ規定致シマシテ、其ノ機能ノ充實ヲ圖ルコトト致シタノデアリマス、尙此ノ機會ニ於キマシテ現行森林法第七章罰則ニ關スル規定ハ、舊刑法ノ特別刑法トシテ規定セラレテ居リマスノデ、之ヲ現行刑法ノ規定ニ即應スルヤウニ改正致スコトニナッタノデアリマス、次ニ林業種苗法ニ付テ御説明申上ゲマス、造林ノ成績ハ造林ニ使用致シマシタル種子ヤ、苗木ノ品質ノ良否ニ依存スルコトガ頗ル大デアルノミナデ

ズ、其ノ種苗ノ良否ト云フモノハ相當ノ年子ヲ經過シテ、後ニ至ッテ初メテ外部ニ顯レテ來ルモノデアリマスカラ、一旦種苗ノ選擇ヲ誤ツタ場合ニハ、永年ノ努力ト多額ノ經費トヲ空シク水泡ニ歸スルノ虞ガアリマスノデ、優良ナ種苗ノ使用ト云フコトハ、造林ノ實行ニ當ッテ最モ肝要ノ事項デアリマス、從ヒマシテ前述ノ如ク木材需給ノ實勢ニ鑑ミ、造林ノ急務デアル現下ノ時局ニ於キマシテハ、種苗ノ生産及配給ニ關シ適當ナル施設ヲ講ズルコトガ喫緊ノ要務ト認メラレルノデアリマス、而シテ内地ノ林業經營ニ關シ最モ重要ナル樹種デ、且林業經營ノ實績ヲ確保スルト云フ見地カラ見テ最モ力ヲ致スベキモノ、即チ杉、檜、赤松、黒松、落葉松、蝦夷松及櫻松ノ七樹種ノ種苗ニ付先ヅ本法ヲ適用スルコトト致シテ居ルノデアリマスガ、本法ニ依ッテ優良種苗ノ採取ニ適スル樹木、又ハ其ノ集團ヲ母樹又ハ母樹林トシテ保存シ、種苗ノ採取ヲ適切ナラシムルト共ニ、造林ニ當リ適地適木ノ原則ヲ具現セシムル爲メ、特定ノ樹種ノ種苗ニ付テハ、之ニ適スル配付區域ヲ定メ、又種苗ノ販賣ヲ業トスル者ヲシテ、種苗ノ品質ヲ保證セシムル等ノ爲必要ナル規定ヲ設ケマシテ、森林生産ノ成果ヲ確保シ、併セテ

林業經營ノ基礎ノ安定ニ資シタイト存ズル次第デアリマス、以上ガ森林法中改正法律案及林業種苗法案ノ内容ノ大要デアリマスカ、何卒御審議ノ上速カニ御可決アラムコトヲ希望致シマス

○山本米三君 只今御配付ヲ受ケマシタ此ノ參考資料ハ、衆議院ノ方カラノ請求ニ依リマシテ提出ニナッテモノト思フノデゴザイマスルガ、是デ全部デゴザイマセウカト思フノデゴザイマスルガ、残りガゴザイマスレバ、ドウカ尙御提出ヲ願ヒタウゴザイマス、其ノ外ニチョット御要求ヲ申シタイノデスガ、民有林ノ五十町歩以上及以下ノ所有者ノ員數ヲ知リタイノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ、昭和十四年ノ國有林及御料林ノ豫定伐採量及價格デゴザイマス、ドウカ宜シク……

○政府委員(村上富士太郎君) 國有林ノ方ハ提出ガ出來ルト思ヒマスガ、御料林ノ方ハ昭和十四年ノ方ハ當ッテ見マセヌト分リマセヌガ、或ハ提出不可能カモ知レマセヌ

○山本米三君 是ハナンデゴザイマスカ、所管ガ違フト云フ意味デゴザイマスカ

○政府委員(村上富士太郎君) 宮内省ノ方デゴザイマシテ……

○山本米三君 ソレヲ御取寄ニ農林省ノ方

カラ預カレマセヌノデゴザイマス

○政府委員(村上富士太郎君) 全然コチラ

ハ與リマセヌデス、是ハ御發表ハ宮内省ノ方デハ致サナイカモ知レマセヌ、國有ノ方ハ恐ラク御示ハ出來ルト思ヒマスガ、御料ノ方ハムツカシイカト思ヒマス

○山本米三君 其ノ量ダケデ結構デゴザイマス、價格ノ方ハ宜シウゴザイマス

○絲原武太郎君 私モ御手數デゴザイマ

ガ、參考資料ヲ戴キタイト思ヒマス、最近五箇年間ニ生産シマス木炭ノ數量、是ハ出

來マスレバ年度別ニ願ヒタイト思ヒマス、ソレト木炭ノ需要ト、消費量ヲ同様年度別

ニシテ願ヒタイト思ヒマス、尙之ノ最高最低價格ノ概況ヲ併セテ承知致シタイト思ヒ

マス、ソレト同時ニ木炭ノ生産ニ依リマスル輪伐段別ノ概況ガ分リマスレバ、是モ知

リタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ現在ニ於ケル府縣ノ各郡各町村ニ駐在配置セラレテ

居リマス森林指導技術員ノ員數竝ニ狀況、但シ此ノ中デ木炭ニ關シマスル指導竝ニ檢

査ノ職員ハ除外シテ戴キタイ、ソレカラ是ハ農林省ノ方デハ少シ或ハ御無理カト思ヒ

マスガ、若シ戴ケマスレバ大變仕合ト思ヒマス、町村特別税、山林ニ對シマスル段別割ヲ賦課徴税シテ居リマスル町村數及其ノ

段別ノ概況、之ヲ最近五箇年ニ付テ知リタイト思ヒマス、尙山林ニ對シテ過當課税セラレテ居リマス相續税ノ最近五箇年間ノ狀況ガ、若シ知り得マスコトガ出來マスレバ仕合ト存ジマス

○政府委員(村上富士太郎君) チョット絲原

議員ニ御尋ネシタイノデゴザイマスガ、地方ノ吏員ト申シマスノハ、一般的ノ吏員デ

ゴザイマスカ、木炭トカ木材検査員ヲ除イ

タ一般指導員ノコトヲ……

○絲原武太郎君 左様デゴザイマス

○政府委員(村上富士太郎君) ソレカラ薪炭林ノ伐採面積デゴザイマス

○絲原武太郎君 左様デゴザイマス、伐採面積ノ概況ガ分リマスレバ、五箇年間ノ一

年間平均デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(村上富士太郎君) 伐採面積ハヒョットスルト分ラヌカモ知レマセヌ、石數ハ分ッテ居リマス

○絲原武太郎君 サウシマスト大抵マア實地カラ云フト、十町步デ概數幾ラノ段別ニ

ナル、一町步ニ幾ラノ生産ヲスルト云フコトハ、大抵ハ見込ガ付クノダト思ヒマスデ

思ヒマス、ソレ以上ハ宜シウゴザイマス

○山本米三君 チョット追加致シマシテモ

ウ一ツ御願ヒ致シタウゴザイマス、森林擔保金融ノ貸付利率デゴザイマス、最高最低

竝ニ貸借ノ期間、何箇年ト云フ期間ガ知リ

タイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ昭和十

四年ノ北海道竝ニ樺太ニ於ケル豫定ノ伐採

量及ビ價格、之ヲ知リタイト思ヒマス

○男爵三須精一君 私ハ參考資料トシテ、

此ノ森林種苗法案ノ參考資料ヲ御願ヒシタ

イト思ヒマス、現在ニ於ケル林業種苗取扱

業者ノ專業者竝ニ兼業者ノ數、ソレカラ苗

木取扱者ノ養成シテ居ル面積ト其ノ取扱ノ

數量、ソレカラ此ノ林業種子ノ移出入ガ相

當アルト私ハ思ッテ居リマスガ、其ノ種類ト

其ノ移出入先ヲ御知ラセ願ヒタイ、同時ニ

其ノ産額ハドレ位ニナッテ居リマスカ、其ノ

三ツヲ……

○子爵梅園篤彦君 只今御配付戴キマシタ

參考資料ヲ拜見シマス、勸業銀行、農工

銀行、信託會社、産業組合等ノ森林擔保貸

付ノ昭和十二年十二月現在ノ狀況ガ出テ居

リマスガ、若シ出來マシタナラバ是等ノ貸

付主體別森林擔保ノ各府縣別現狀ヲバ、成

ルベク詳細ニ御示ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 其ノ他委員

ノ方デ此ノ際參考資料ヲ御請求ノ方ハゴザ

イマセヌカ……ソレデハ御請求ノ參考書類

ガ來マシタ上ニ、更ニ此ノ次ノ委員會ノ開

催ハ彙報ヲ以テ御通知致シマスカラ、左様

御承知ヲ願ヒマス、ソレデハ今日ハ是デ散

會致シマス

午前十一時五十二分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵川村鐵太郎君

副委員長 男爵三須 精一君

委員 公爵一條 實孝君

侯爵佐竹 義春君

子爵伊集院兼知君

子爵鍋島 直繩君

子爵梅園 篤彦君

木場 貞長君

男爵小畑大太郎君

男爵近藤 滋彌君

宇野 勇作君

小林嘉平治君

山本 米三君

絲原武太郎君

政府委員 農林政務次官 松村 謙三君

農林省山林局長 村上富士太郎君

昭和十四年三月二日印刷

昭和十四年三月三日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局